【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2007-58150(P2007-58150A)
【公開日】平成19年3月8日(2007.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2007-009
【出願番号】特願2005-293370(P2005-293370)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｈ　1/34　(2006.01)
Ｇ１０Ｈ　1/00　(2006.01)
Ｇ１０Ｇ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｈ　1/34
Ｇ１０Ｈ　1/00　Ｚ
Ｇ１０Ｇ　1/00

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月26日(2007.2.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ｘ，Ｙ座標が（１，１）～（ｍ，ｎ）の範囲に二次元配列され、内部に発光素子を有する複数のキースイッチと、
同じＸ座標でＹ方向に配列された一列のキースイッチ群（Ｘ，１）～（Ｘ，ｎ）であるキースイッチ列毎に１つのキースイッチ（ｘ，ｙ）の選択を受け付ける選択手段と、
選択手段でキースイッチが選択されると、キースイッチ列において、選択されたキースイッチ（ｘ，ｙ）と一端のキースイッチ（ｘ，１）との間を往復させてキースイッチの点滅制御を行う点滅制御手段と、
各キースイッチ列において、一端のキースイッチ（ｘ，１）が点灯するのと同期して、そのキースイッチ列に割り当てられた音質および音高で楽音を発音する発音手段と、
を備えたことを特徴とする演奏装置。
【請求項２】
前記発音手段は、前記選択されたキースイッチ（ｘ，ｙ）が点灯するのと同期して、そのキースイッチ列に割り当てられた音質および音高で楽音を発音する請求項１に記載の演奏装置。
【請求項３】
各キースイッチ列において、一端のキースイッチが押下された時、そのキースイッチ列における前記選択手段によるキースイッチの選択を解除し、そのキースイッチ列についての前記点灯制御手段および発音手段の動作を停止する選択解除手段を備えた請求項１または請求項２に記載の演奏装置。
【請求項４】
Ｘ，Ｙ座標が（１，１）～（ｍ，ｎ）の範囲に二次元配列され、内部に発光素子を有する複数のキースイッチと、
選択されたキースイッチの選択時間を計時する計時手段と、
計時手段により計時された選択時間が所定時間以上である場合に前記キースイッチを含

む所定領域内の発光素子の発光パターンを制御する発光パターン制御手段と、
　計時手段により計時された選択時間が所定時間以上である場合に前記キースイッチに割り当てられた発音データをエフェクトして出力する発音手段と、
を備えたことを特徴とする演奏装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
　この発明の演奏装置は、Ｘ，Ｙ座標が（１，１）～（ｍ，ｎ）の範囲に二次元配列され、内部に発光素子を有する複数のキースイッチと、同じＸ座標でＹ方向に配列された一列のキースイッチ群（Ｘ，１）～（Ｘ，ｎ）であるキースイッチ列毎に１つのキースイッチ（ｘ，ｙ）の選択を受け付ける選択手段と、選択手段でキースイッチが選択されると、キースイッチ列において、選択されたキースイッチ（ｘ，ｙ）と一端のキースイッチ（ｘ，１）との間を往復させてキースイッチの点滅制御を行う点滅制御手段と、各キースイッチ列において、一端のキースイッチ（ｘ，１）が点灯するのと同期して、そのキースイッチ列に割り当てられた音質および音高で楽音を発音する発音手段と、を備えたことを特徴とする演奏装置。